



都民の声が届く都政へ

都議選から1年をふりかえる 6つの質問

2回連続で議席が増えた都議選から1年。インタビューで振り返りました。

Q1

都議選から1年です。よかったことは？



A1

東京から政治を変えようとするみなさんのご支援で、議席が増え、日本共産党都議団の力が強まりました。議員みんなで質問を練り、子どもの貧困解決や住宅の耐震化助成などで前向きな答弁が出るなど、要求が一つひとつ着実に実っています。

Q2

共産党都議団の議席が増えてどう変わりましたか？



A2

質問時間が増えて、いっそうたくさんの方の問題をとりあげられるようになりました。条例提案権も生かして、18歳まで医療費を無料にする条例や給食費を値下げさせる条例などで6本の条例案をだしました。

Q3

最近の小池都政はどうですか？



A3

「築地を守る」と言いながら、豊洲移転を強行したり、大型開発優先の都政を続けたりしているのは大問題です。一方、待機児童問題の改善、特養老人ホームの整備費補助の倍増など前進面も。私たちは「いいことは進め、悪いことはストップする」立場でがんばっています。

Q4

シルバーパス、もっと安くなりそうですか？



A4

所得が一定額を超えると、千円からいっきに2万円以上になってしまうシルバーパス。共産党都議団は、3千円や5千円のパスをつくるようくり返し条例提案や質問をしてきましたが、都として調査する予算がつかまりました。さらにこれを値下げにつなげるため、がんばります。

Q5

深刻な保育園不足の改善はどうですか？



A5

私たちがいつか求めてきたのは施設も人員も充実している「認可保育園」を増やすこと。先の議会でも小池知事が「認可保育園をはじめとする」保育サービスの拡充を支援すると答弁したのは大切です。「量も質も」の立場でさらにがんばります。

Q6

豊洲に本当に市場を移してしまうのですか？



A6

「築地女将さん会」が行った築地市場の仲卸業者への調査でも、回答者の9割以上が築地で営業を続けることを求めています。今も環境基準の140倍を超える有害物質のベンゼンが検出されるなど安全・安心の問題も解決していません。移転中止に向けて私たちは引き続き全力を尽くします。

政治は変わるし、
変えられる

都民の暮らしをこわす政治とは正面から対決する一方、認可保育園や特養老人ホームの増設などでは具体的な提案をして願いを叶らせてきました。これからも、都民のみならずと手をつなぎ、要求実現のため全力を尽くします。

日本共産党都議団

